

会員交流会



2023年4月9日@うめとぴあ



皆さん、こんにちは。副支部長の中川聞夫です。前号の東京支部だよりの巻頭言で、コロナブランク解消を目指し、様々な友の会イベント開催を公約に掲げました（選挙じゃないけど）。早速第一弾、4月9日に最近2年くらいに入会された新入会員さんと役員サポーターさんとの交流会を世田谷区立保健医療福祉総合プラザ(以下うめとぴあ)で、本当にやりました。

前日の嵐が嘘のように過ぎ、雲ひとつない晴天の日曜日の午後、小田急線梅ヶ丘駅徒歩 5分、駅近、新築、陽当良好、バリアフリーのうめとぴあに、心臓ペースメーカー友の会東京支部の新入会員の精鋭8名が2人の付添人と共に到着されました。お迎えするのは、最強メンバーを欠きながらも、笑顔と誠意で頑張る役員サポーターチーム11名。午後2時の時報を合図に、交流会のはじまりです。



会議テーブルを口の字に並べ変え、役員も新入会員が混在して席につき、支部長の挨拶の柔らかな口調に促され、一人一人、順に自己紹介もそこそこに、思いの丈を思う存分お話になりました。曰く、病院の対応の冷淡さ、昔の治療のシリアスな思い出、突然のリコール通知への驚き、世の中がピンクになった体験に加え、健康体操に励み、家電の電磁干渉に警戒し、孫に絵手紙を描き、心配事を気

兼ねなく話せる場があつて嬉しいなどなど。休憩を取る間も惜しんで、皆さん、話す、聞く、頷く、笑う、大きな窓から飛行機を眺めると、とても充実した二時間となりました。



具体的な課題としては、アボット社のペースメーカーリコール問題が予想以上に深刻な状況であるとわかりました。市場シェアは大きくない会社ですが、今回の交流会では参加された会員中4名がリコール対象者で、そのうち、既に交換した人、様子見を選択した人、健康状態から躊躇する人と対応が分かれていることもわかりました。対応が分かれること自体は然るべきことですが、どのような選択をした人も不安感、不信感が残ってしまっている現状は憂慮すべき事態です。病院やメーカーからの通知や説明が患者の利益第一で考えられているのかどうか、全国で同じ目線で対応されているのかなど、対象会員は今も悩んでいる方が少なくない様子です。(後日、支部長から提案をしていただき、友の会本部で対処が検討されています)



今回の交流会を通じて、話せて良かった、聞いて良かったというお声が多かったことは、これからの友の会活動の指針を考える上で大いに参考となりました。さらに、もっと身近な場所で開いてほしいというお声は、会員の年齢構成を考えると今後一層切実なものになっていきそうです。

また、担い手については、出来る時に出来る範囲のお手伝いで結構ですので、より多くの方にサポーターに名を連ねて頂きたいと願っています。都合がつけば、月に1回役員会（世田谷区経堂の友の会本部の会議室をお借りしてやっています）に御参加頂けると幸いです。時々、イベント準備のために御協力頂くことでも結構です。ぜひ、御一報ください。みんなで集まってあれこれお話しするのも意外と楽しいものです。さらに、支部活動を充実させるための新企画イベントのアイデアも大募集中です。

（中川 聞夫）

会場情報・サポーター・アイデア大募集

- *公共施設、公民館他、20名～40名で2時間使用できる予約可能な場所や10名程度で予約できる個室がある喫茶店、ファミレスなどを御存知の方
- *サポーターとして東京支部を支えてくださる方
- *こんな交流会や懇親会をやりたいというアイデアをお持ちの方

下記担当者までお知らせください

電話 **080-6777-4897**

（留守電に残して下さい。折り返します）

〒156-0043 世田谷区松原 4-33-8-201 中川聞夫

メール <kikuonakagawa@yahoo.co.jp>



バス旅行に参加しました！

生まれて初めて、友の会のバス旅行に参加しました。今年のコースは、はとバス横浜ベイサイドストーリー中華街上海料理です。港の見える丘公園、中華街、ポートタワー、シーバス（ミニクルーズ）と横浜観光の王道をたどる旅です。バスは他のグループと同乗でほぼ満席でしたが、なかなか快適でした。バスガイドさんは、とても昭和っぽい演出で、右に見えますのはXXX、左は何とかブリッジとか、帰路には「東京のバスガール」まで熱唱してくださいました。車内は懐かしい観光バスの空気に包まれ、ひたすら繰り返される時間厳守とトイレの注意は、小学校の遠足みたいでした。

公園の少し盛りを過ぎた薔薇も穏やかに美しく、青い空の下、海に行く船がパンフレットにそっくりでした。健脚さんたちは外人墓地にも脚を伸ばしたようです。中華街は平日の昼というのに人出が凄い。食事をもう少しゆったり楽しめると良かったのですが、団体ツアーは効率第一。それでも、私たちのグループだけで個室を用意してもらったので、ペースメーカーの話や健康法の話で、旧交を温める会員さんも、初参加の会員さんも和やかに交流する時間となりました。午後は、ポートタワーに登ったと思えば、赤レンガ倉庫からミニクルーズに乗船と、あっという間でした。定刻通りに東京駅に戻って、楽しい楽しいバス旅行が終わりました。

旅行担当の理事さんたちは、はとバスと政府のコロナ対策に翻弄され、大変なご苦勞をされた今年のバス旅行でしたが、参加者としてはやっぱり支部活動が戻ってきたことを実感できる素晴らしい機会になりました。実施方法を工夫しながら、これからも楽しい活動が増えるといいですね。

(中川 聞夫)



四年ぶりのバス旅行顛末記



5月24日(水)午前9時40分、東京支部会員22名と一般客を乗せた、可愛い熊模様(まだ1台しか無い)黄色いはとバスが東京駅丸の内南口を離れ、一路横浜へ出発——前日の雨が嘘のような快晴。2か月余りをかけてバス旅行の準備に燃え尽きそうになって

いた私の気持ちをすっかり元気してくれました。

3月の役員会は、長過ぎたコロナ自粛から支部活動をどう建て直していくか、コロナ前はこんな活動をした、あんな活動もやったしと、思い出がつきないベテラン役員に、コロナ時期しか知らない新役員の怖さ知らずが伝染したのでしょうか。気がついてみれば、4月は交流会、5月はバス旅行と決定され、そして旅行担当に。

早々にパンフレットをと街に出て異変に気が付きました。我が街にあった旅行社3軒が共々、コロナ3年の間に姿を消したのです。やむなくはとバス新宿営業所へ。そこも張り紙付き閉店中。やむなく、丸の内南口営業所へ。冊子だった企画数が文字通りのパンフレットに。インターネット検索を促されるも、超苦手!!

やっと突き止めるも身障手帳利用団体申込みは、電話のみで受付! その電話が何と30分呼び出し続けというつながりにくさ。塩対応どころか「わさび対応」。

電話で、「横浜ベイサイドストーリー上海料理状元楼コース」の催行決定を確認の上、3月役員会をへて支部会員の皆様にご案内を差し上げるまでは概ね順調でした。以降、毎日インターネットの当該コースの団体受付開始をチェック。仮申し込みから本申込へと漕ぎ付けました。このコースへの申し込みが早かったので全国旅行支援適用(神奈川県)にもなりました。はとバスでは、もともと身体障害者割引の適用があります。これはお得です。旅行支援が効いた事で、1人当たり千円返金することに役員会で決まりました。(千円の封入作業は5月役員会時に、Nさんが担って下さり、旅行当日に参加者のお手元にお渡しできました。)

ところが、グッドニュースと思いきや、3回以上のコロナワクチン接種の証明が必要とのこと。早々旅行申込みされ



ている会員(役員を除く)にハガキ通知しました。さあ、問い合わせの電話が続々。その最中、政府が「コロナワクチン接種の証明書類提示は無くす。全国旅行支援は継続する。」と発表。電話が苦手なFさんが営業所に聞きに行くと「はとバスでは、コロナワクチン接種の証明書がなくても、身障手帳がなくても、割引分を支払えば参加できる」とのこと。

会員から問い合わせで分かったことは、身障手帳を申請していない人や3回目のワクチン接種をしていない人がそれなりにいらっしやること。さらに、団体のはとバスでの支払いは当日現金と指定され、「それぞれ分けて名簿提出。」とのこと。出発前の受付で、①手帳、接種証明あり、②手帳あり、接種証明なし、③手帳なし(ただし要身分証明書)に分けて 22人の提示と本人確認チェック、各種料金計算、納入を40分以内に済ませられるのか、不安がつりました。

申込から一貫して、はとバスからの変更連絡等はなく、電話での一方通行。政府発表から大分たっても「3回接種証明提示」とのことでした。最終確認の電話をしたところ「接種証明は必要なし。全国旅行支援付き」を確認。「地域振興券は？」と問うと「ついています。当日バスガイドからお渡しします。」なかなかつながらない電話で、聞かれないことは一切伝えないのには参りました。また「政府決定」と「はとバス決定」のずれには忍耐力を試される日々でした。

結局、当日の受付では、参加者と、手帳が身分証明書の確認のみとなり、提出名簿は「障害者」と「付き添い」の別のみとなり全員手帳割引とスツキリ。当日は集合時間を待たずに来た人から受付を開始。支払いも済ませたところで出発時間セーフ。晴天・障害者割引・全国旅行支援割引・千円の返金・地域振興2,000円クーポン付きのお得な日帰りバス旅行となりました。

四年ぶりのバス旅行は、お天気にも恵まれ、思い出深いものになりました。翻弄された準備の数々も、語り草になってくれることでしょう。めでたしめでたし。

(中林 靖子)



支部の予定

*9月9日(土)「勉強会」13:30～15:30

講 演・Q&A：渡邊 寛(ゆたか)先生
取手北相馬保険医療センター医師会病院副院長
筑波大学附属病院 臨床教授
会 場：日比谷図書文化館・小ホール
東京都千代田区日比谷公園1-4
※詳細は8月に「ご案内状」をお送りします。



*11月23日(木・祝)「第41回支部総会」

会 場：アルカディア市ヶ谷(私学会館)
千代田区九段北4-2-25
※第2部は、中島 博先生・今井 靖先生による
「Q&A」を企画しています。
※詳細は10月に「ご案内状」をお送りします。

